

せんだん

〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

岩国市立米川小学校だより

令和7年度 No.6 11月4日発行

米川小学校長

米川小ゆるキャラ
「せんくん・だんちゃん」



「運鈍根」と「無用の用」

10月中旬にノーベル賞の発表がありました。今年は、日本からは2人の研究者が受賞しました。今回受賞された2人ともが大切にしている言葉が同じだったそうです。それは「運鈍根」という言葉です。「運鈍根」とは、物事を成功させるのに必要なのは「幸運」と「才気走らず粘り強いこと」と「根気」の3つだという意味です。苦難の時代が長くあっても、自分を信じて研究をコツコツと続け、花が開いたのでしょうか。学校では「知ることの楽しさ」に気づかせたり、「なぜ?どうして?と問いを持つ力」や「粘り強く取り組む姿勢」を育てたりすることの大切さを教えてくれた出来事でした。

また、化学賞を受賞された北川進先生は、記者会見でこうも語っておられます。「見えているものが重要だというやり方は終わっている。見えないもの、無駄に見えるものにこそ価値がある」と。この「無用の用」という考えは、中国の古典『莊子』に由来し、「人はみな“役に立つもの”ばかりを求めるが、実は“役に立たないように見えるもの”にこそ、本当の価値がある」という意味です。子どもたちが今学んでいることの中には、すぐに役立つとは思えないものもあるかもしれません。しかし、遠回りに見える学びや、遊びの中の気づき、失敗の経験こそが、将来の大きな力になることがあります。お子さまが「なんでこんなこと勉強するの?」と疑問を持つこともあるでしょう。そんな時こそ、「今はわからなくても、きっと役に立つ時が来るよ」と声をかけていただきたいと思います。ぜひ、何事にも前向きに一生懸命取り組めるようなお声かけをお願いします。子どもたちの可能性を信じて、すぐに結果が出なくても見えない力が育っていることを、私たち大人が信じて支えていきたいと思っています。

11月・12月のおもな行事予定



11月13日(木) 玖西地区音楽会
15日(土) ふれあいフェスタ
17日(月) 振り替え週休日
26日(水) 避難訓練

12月 2日(火) 持久走大会
3日(水) 持久走大会予備日
16日~19日 1・2年4校時、
3~6年5校時授業
22日(月) 個人懇談会 13:30~
24日(水) 終業式、給食終了



宿泊体験学習(10/9, 10) 〈由宇ふれあいパーク〉



5年生3名が、周東町4校連合で1泊2日の宿泊体験学習に行きました。全ての活動が4校の児童が混在の7つの班で行われます。積極的に話しかけ、役割分担しながら協力して活動しました。1日目は、勾玉作りや野外でのカレーライス作り、星の観察を、2日目は銭壺山でのオリエンテーリングやネイチャーゲーム行いました。班活動をととして、協力することの大切さや家族や周囲の人への感謝の気持ちに二日間だったようです。

田んぼアートの稲刈り(10/14)

5・6年生が稲刈りをしました。学校運営協議会の委員の方や地域の方も参加してくださいました。鎌で稲を刈り、わらで束ねた後、田んぼで稲架掛けをしました。



いも掘り(10/27)

全校児童が芋掘りを行いました。「紅はるか」「安納いも」「紫いも」の3種類はとてもよく育ち、低学年では持ち上げるのが大変なほどにできていました。ふれあいフェスタでのシシ汁や持久走大会後のご褒美にいただきます。



人権教育参観日・講演会(10/15)



各教室で、いろいろな視点から言葉の使い方について考える授業が行われました。続いて、講演会では、由宇亭拓の輔さんをお迎えし、「大いに笑い、楽しく学ぶ」と題し、落語を交えながら講演をいただきました。「ありがとう・うれしい・さすが・すごい(AU3S)」という言葉が人と人をつなぐ言葉だと教えていただきました。温かい言葉があふれる学校・家庭でありたいです。

クラブ活動〈グラウンドゴルフ〉(10/20)

4～6年生がクラブ活動の時間にグラウンドゴルフを行いました。米川グラウンドで活動されているみなさんに来ていただき、一緒にプレーしました。8ホールを回り、お互いのプレーを褒め合いながら楽しいひとときになりました。



童謡を歌う会(10/30)



「赤とんぼ」の皆さんが29名来られ、たくさんの童謡を披露してくださいました。「米川小学校歌」や「岩国市歌」を一緒に歌ったり、「かたつむり」と「証城寺の狸囃子」を合わせて歌ったりしました。児童の歌へのアドバイスもいただきました。

